

2020.9【vol.86】

# 水レター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西・吉野川支社淀川本部 発

水資源機構全体の取り組みや関西管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

index

1. 関西管内の水源地状況と気象	1 p
2. 関西管内の主な出来事	5 p
3. 地震防災訓練を実施しました	6 p
4. 川上ダム進捗状況	7 p
5. 堤体コンクリート30万 <sup>m</sup> ³打設達成！	9 p
6. 令和2年度淀川本部管内技術研究発表会を開催	10 p
7. 一庫ダムイベント実施報告	11 p



# 1. 関西管内の水源状況と気象

## (1) 関西管内の水源状況（2020年9月）と今後の見通し

関西管内の各ダム流域における今年9月の水源状況は次のとおりです。

9月のダム地点降水量は平年値を下回っており、9月30日現在の貯水率は、一庫ダムを除きほぼ平年値通りとなっております。一庫ダムについては、8月以降のダムからの補給に伴い、貯水率が低下しています。

なお、気象庁の降雨予報によると、10月の降水量は平年並みか少ない見込みです。引き続き、今後の水源状況に注意してまいります。

(9月30日9:00時点)

施設名	所在地 (予報区)	ダム地点降水量		ダム貯水率	
		(mm)	(平年値)	(%)	(平年値)
高山ダム	京都府山城南部	153	174	90.3	92.7
青蓮寺ダム	三重県伊賀	158	221	98.7	94.4
室生ダム	奈良県北東部	183	207	95.6	88.3
布目ダム	奈良県北西部	139	188	98.1	94.3
比奈知ダム	三重県伊賀	174	248	98.3	96.9
一庫ダム	兵庫県阪神	149	189	68.6	88.4
日吉ダム	京都府南丹・京丹波	115	184	94.3	87.5
琵琶湖	滋賀県全域	167	203	BSL-0.32m	BSL-0.33m

※ダム地点降水量は9月1日～29日までの累計雨量です。

※ダム地点降水量平年値は9月の累計降水量の平年値です。

※ダム貯水率・平年値は9月30日の値（洪水期の利水容量割合）です。

## (2) 関西管内水源情報について

関西管内における各ダムの貯水状況、補給状況等詳細情報は、関西・吉野川支社淀川本部ホームページの水源情報に掲載しておりますのでご覧ください。

水資源機構関西・吉野川支社淀川本部HPアドレス

<https://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigen/suigen.html>

(参考) 気象情報 (大阪管区気象台HPより抜粋)

① 近畿地方の天候 (2020年8月)

太平洋高気圧に覆われて、中旬を中心に晴れて暑い日が多くなりました。湿った空気の影響で大雨となった所がありました。

近畿地方の8月の平均気温は平年差+2.1°Cで、1946年の統計開始以来、高い方から第1位となりました。日照時間は平年比131%で、1946年の統計開始以来、多い方から第3位となりました。

上旬：太平洋高気圧に覆われて、太平洋側を中心に晴れた日が多くなりました。期間の後半は、湿った空気の影響で、日本海側を中心に大雨となった所がありました。

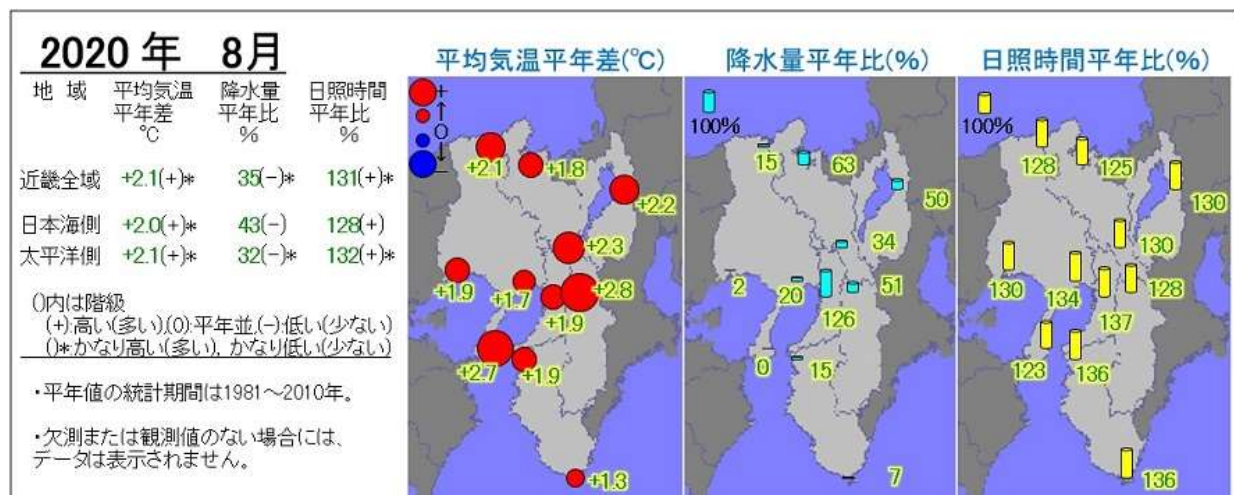
中旬：太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日が多くなりました。期間の前半は、湿った空気の影響で、日本海側を中心に大雨となった所がありました。

近畿地方の8月中旬の平均気温は平年差+2.7°Cで、1961年の統計開始以来、高い方から第1位となりました。日照時間は平年比154%で、1961年の統計開始以来、多い方から第2位となりました。

下旬：太平洋高気圧に覆われて晴れて暑い日が多くなりました。湿った空気の影響で、太平洋側では大雨となった所がありました。

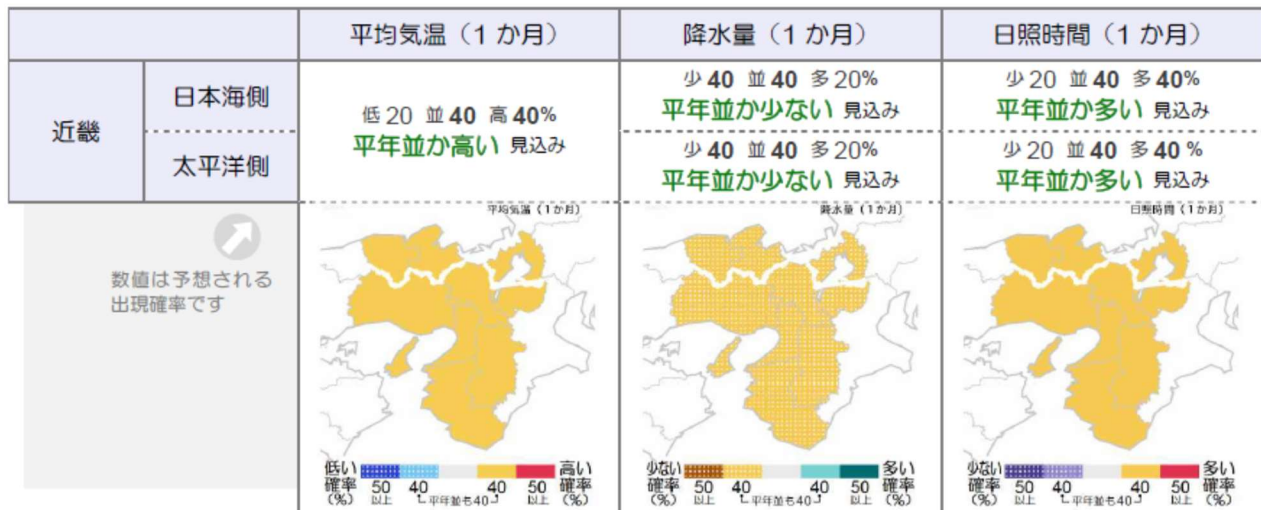
近畿地方の8月下旬の平均気温は平年差+2.4°Cで、1961年の統計開始以来、高い方から第2位となりました。日照時間は平年比142%で、1961年の統計開始以来、多い方から第3位となりました。

	上 旬		中 旬		下 旬	
	気 温	降水量	気 温	降水量	気 温	降水量
日本海側	高	平年並	かなり高	少なく	かなり高	少なく
太平洋側	高	かなり少	かなり高	かなり少	かなり高	平年並



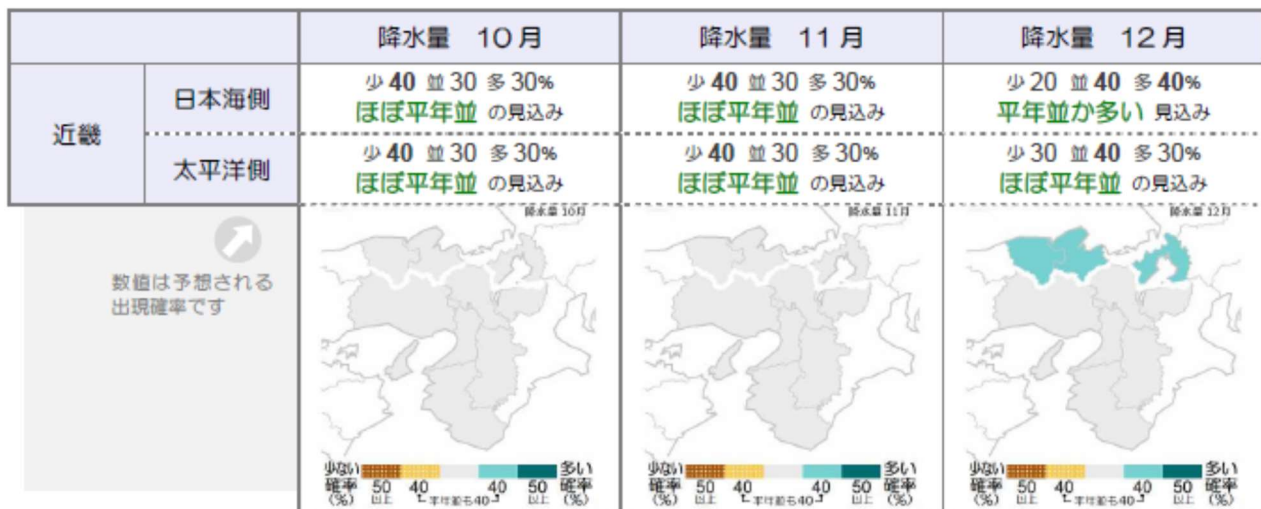
② 近畿地方の天候の見通し（大阪管区气象台HPより抜粋）  
 1ヶ月予報（9月26日から10月25日まで）

暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込みです。また、高気圧に覆われやすい時期があるため、向こう1か月の降水量は平年並か少なく、日照時間は平年並か多い見込みです。



3ヶ月予報（10月から12月まで）

- 10月 天気は数日の周期で変わり、太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
- 11月 日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多い見込みです。また、太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。
- 12月 日本海側では、寒気の影響を受けやすいため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多い見込みです。また、太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。



# 流域・水源の雨量・貯水量・ダムからの補給量一覧表

2020年9月30日 9時00現在

ダム名	水位(※2)		貯水量(※1.2)			流量(※2)		補給量(過去3ヶ月:7月~9月)(※3.4.6)				雨量(過去3ヶ月:7月~9月)(※5.6)						
	貯水量(標高m)	貯水量(万m3)	貯水率(%)	貯水量(万m3)	貯水率(%)	ダム流入量(m3/s)	ダム放流量(m3/s)	当日0時の補給量(m3/s)	累計補給量(過去3ヶ月)(万m3)	平年ダム累計補給量(過去3ヶ月)(万m3)	補給量平年比率(過去3ヶ月)(%)	R2.9月補給量(1日~29日)(万m3)	平年9月補給量(万m3)	累計雨量(過去3ヶ月)(mm)	平年累計雨量(過去3ヶ月)(mm)	雨量平年比率(過去3ヶ月)(%)	R2.9月降水量(1日~29日)(mm)	平年9月月間雨量(mm)
高山ダム	116.03	1,246	90.3	1,280	92.7	12.08	12.05	0.0	3,210	3,644	88.1	1,317	992	598	504	118.5	153	174
青蓮寺ダム	272.74	1,520	98.7	1,454	94.4	2.70	2.52	0.0	433	505	85.7	131	179	557	585	95.2	158	221
壺生ダム	287.03	626	95.6	578	88.3	2.45	2.47	0.0	554	680	81.5	263	354	728	562	129.4	183	207
布目ダム	278.96	883	98.1	849	94.3	1.44	1.00	0.0	297	380	78.2	77	142	592	521	113.5	139	188
比奈知ダム	291.73	924	98.3	911	96.9	2.69	2.36	0.0	580	644	90.1	149	211	587	637	92.2	174	248
一直ダム	129.44	912	68.6	1,175	88.4	1.16	2.43	1.3	841	1,228	68.5	332	440	727	535	135.8	149	189
日吉ダム	177.85	1,509	94.3	1,400	87.5	5.53	3.22	0.0	1,995	2,433	82.0	731	863	563	492	114.5	115	184

湖沼名	水位(※2)		雨量(過去3ヶ月:7月~9月)(※5.6)					
	(B.S.L)	平年水位(m)	平年値との差(m)	累計雨量(過去3ヶ月)(mm)	雨量平年比率(過去3ヶ月)(%)	R2.9月降水量(1日~29日)(mm)	平年9月月間雨量(mm)	
琵琶湖	-0.32	-0.33	0.01	651	577	112.8	167	203

流域名	雨量(過去3ヶ月:7月~9月)(※7.8.9)			
	累計雨量(過去3ヶ月)(mm)	平年累計雨量(過去3ヶ月)(mm)	雨量平年比率(過去3ヶ月)(%)	R2.9月降水量(1日~29日)(mm)
枚方上流域	640	561	114.1	160
桂川流域	725	565	128.3	138
宇治川流域	621	533	116.5	143
木津川流域	571	562	101.6	172
猪名川流域(※9)	438	502	87.3	89

※7 暫定値であり数値は変動する場合があります

※8 雨量の平年累計値は平成6年からのデータを使用しております。(24年間)

※9 猪名川流域は、ダム下流の上田地地点雨量を使用しております。

(出典:国土交通省水文水質データベース)

※1 貯水率は、6月16日より洪水期の利水容量で計算しております。

※2 貯水位(琵琶湖を除く)、貯水量、流量は当日0時のデータです。琵琶湖水位は当日6時の値です。

※3 補給量は当日0時までのダム放流量と流入量の差を累計した値です。

※4 当日0時の補給量は瞬時値として当日0時における放流量と流入量との差で表しております。

※5 雨量は当日0時までの累計値です。

※6 補給量、雨量(琵琶湖除く)の平年累計値は平成11年4月以降(7ダム管理開始)からのデータを使用しております。

琵琶湖雨量の平年累計値は平成4年4月以降からのデータを使用しております。



## 2. 関西管内の主な出来事

関西管内における前号発行（令和2年7月31日）以降の主な出来事をお知らせします。

- 8月4日（火）： 淀川水系ダム事業費等監理委員会（メルパルク京都）を開催
- 8日（土）： 関西気象キャスターネットワークへの説明・意見交換会（WEB会議）を実施
- 19日（水）： 防災勉強会（地震時等の施設一次点検訓練）を実施（中津川管理室）
- 19日（水）： 猪名川流域総合開発促進協議会が要望活動に来所（淀川本部）
- 9月1日（火）： 地震防災訓練（一斉訓練、個別訓練）を実施
- 9日（水）： 淀川本部管内技術研究発表会を開催（淀川本部）
- 16日（水）： 滋賀県建設業協会との意見交換会に出席
- 18日（金）： 布目ダム水源地域ビジョン実行連絡会を開催（書面会議）
- 23日（水）： 近畿建設協会研究助成発表会（エルおおさか）に参加
- 28日（月）： 京都府建設業協会との意見交換会に出席
- 29日（火）： 兵庫県建設業協会との意見交換会に出席



### 3. 地震防災訓練を実施しました

9月1日及びこの日を含む1週間は、台風、豪雨、豪雪、洪水、高潮、地震、津波等の災害について認識を深めるとともに、これに対する備えを充実強化することにより災害の未然防止と被害の軽減に資することを目的に「防災の日」及び「防災週間」と定められており、全国的に防災訓練等が実施されています。

この全国的な取り組みにあわせ、淀川本部では9月1日、発生が危惧されている南海トラフ地震が発生したという想定で訓練を実施しました。

訓練では、午前8時に地震が発生したと想定し、職員及び家族の安否確認を行うとともに、各事務所での施設点検、被災箇所への応急対策の実施状況を把握するための情報伝達訓練及び記者発表資料作成訓練を行いました。今回は、淀川本部と各事務所をテレビ会議で繋ぎ、被災状況の共有を行う訓練を行いました。なお、訓練実施にあたっては、マスク着用、職員間の距離確保やクリアパネル設置など、新型コロナウイルス感染予防対策を行いました。

淀川本部では、今回の防災訓練の結果を踏まえた課題について改善を図るとともに、実際の災害発生時に適切な対応を行ってまいります。



防災本部 全景



淀川本部における各事務所の  
情報収集・伝達

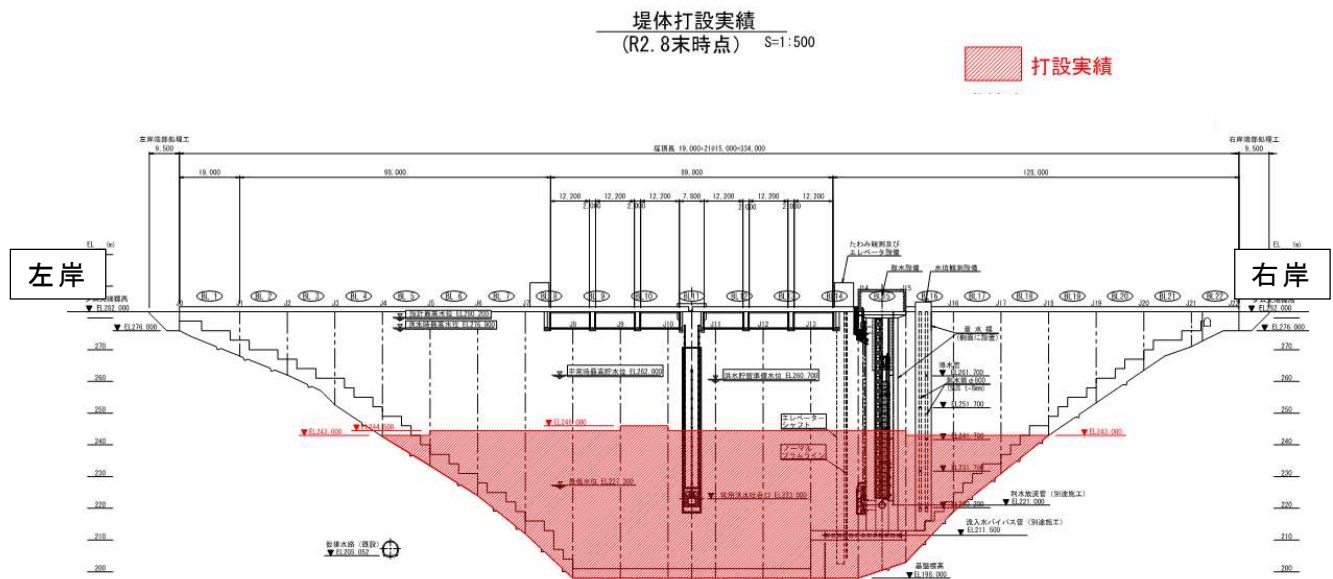


テレビ会議による被災状況把握訓練



# 4. 川上ダム進捗状況

- 川上ダム建設工事について、令和2年8月末時点の進捗状況をご紹介します。
- 現在の打設量は29.9万m<sup>3</sup>（進捗率：約66%）で、ダムの高さは約48m（全体84m）まで立ち上がりました。
- 減勢エココンクリート打設の進捗率は約92%です。



ダム上流より堤体を望む



ダム下流より堤体を望む



○右岸下流では利水放流設備のゲートを設置しています。  
今後は管理用水力発電設備の工事が始まります。



左岸より右岸を望む



利水放流設備工事

○川上ダム管理棟新築工事で鎮め物を埋納しました。  
土地鎮めの「要石」で知られます大村神社より頂いた鎮め物を、基礎中央に埋納し、工事の安全を祈願しました。



管理棟工事現場



職員が慎重に埋納する様子



鎮め物

川上ダム建設所 HP ではダムサイトのリアルタイムカメラの映像（遠景）がご覧いただけます。

また、公式 Twitter ではコンクリート打設の動画や環境調査の情報等、各課職員から様々なつぶやきが発信されています。

是非アクセスしてみてください。



川上ダム建設所 HP 工事進捗カメラ  
<https://kawakamidam-cam.arksystem.jp/>

川上ダム建設所 公式 Twitter  
[https://twitter.com/jwa\\_kawakami](https://twitter.com/jwa_kawakami)



# 5. 堤体コンクリート 30万m<sup>3</sup>打設達成!

令和2年9月4日に川上ダム堤体コンクリートの打設量が30万m<sup>3</sup>に到達しました。令和元年9月20日の初打設以降、約11ヶ月での達成です。当日は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からイベント等は行わず工事担当者で写真撮影のみ行いました。引き続き、安全第一で品質確保にも留意しながら、施工を進めてまいります。



30万 m<sup>3</sup> 到達 (R2.9)



20万 m<sup>3</sup> 到達 (R2.5)



10万 m<sup>3</sup> 達成 (R2.2)



初打設 (R1.9)



下流締切完成 (H30.8)

## 6. 令和2年度淀川本部管内技術研究発表会を開催

令和2年9月9日に「令和2年度淀川本部管内技術研究発表会」を開催しました。

今回で23回目の開催となった本発表会は、日々の事業を進めていく中で、職員の機転により得られた成果や最新技術を積極的に活用している事例の報告など多種多様な業務課題に対する発表が行われました。

また開催にあたっては新型コロナウイルス感染防止のため様々な対策を実施し、会場内は発表者・審査員・運営スタッフのみの無観客開催（視聴希望関係機関（10機関）の皆様、水資源機構各事務所はWEB配信）となりました。

今年度は15論文が発表され、優秀賞4題、特別賞2題が選ばれました。優秀賞の4題は、令和2年12月8日に水資源機構本社で開催される「水資源機構技術研究発表会」に推薦されました。

発表会当日は、ご多忙にも関わらず多くの関係機関の皆様にご視聴頂きありがとうございました。日々、機構が取り込んでいる業務の一端の紹介ではありましたが、引き続き機構業務へのご理解を頂ければ幸いです。

### 【優秀賞】

◎「ダム管理における流出予測システム精度向上に向けた一考察」

淀川本部 陶山 武士

◎「ジェットフローゲート水密性能向上における一考察

～シールリング形状に着目して～

川上ダム建設所 下園 英世

◎「一庫ダムにおける洪水調節機能の強化に向けた取り組み」

一庫ダム管理所 川上 貴宏

◎「ICTを活用したダム施工監理の効率化」

川上ダム建設所 渡邊 峻



今年度発表された15論文は、以下のリンク先からご覧いただけます。

[https://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/kensetugi\\_jyututen/pdf/20200909\\_ronbunnsyuu.pdf](https://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/kensetugi_jyututen/pdf/20200909_ronbunnsyuu.pdf)



## 7. 一庫ダムイベント実施報告

令和2年8月2日（日）、一庫ダム管理所で「ソーシャルディスタンスで楽しむ流木ペインティング大会」が知明湖キャンプ場（兵庫県川西市黒川字落合）で開催されました。このイベントは、今年で14回目を迎え、毎年多くの方にご参加頂いています。今回は、イベント参加者の安全を最優先に、新型コロナウイルス感染症防止対策及び熱中症対策を行い、参加者の皆さまにもご協力を頂き開催致しました。

開催場所の知明湖キャンプ場は、日本一の里山と称される川西市黒川地区にあり、市民に愛される自然豊かな場所です。当日は、21名（大人12名、子供9名）の方にご参加頂き、洋画家の安食慎太郎先生のご指導のもと、流木に思い思いの色を乗せて、楽しい時間を過ごしました。

このイベントは、ダム湖に流れ込み回収した流木を使用することで、廃棄物の有効活用を目的とし、また、イベント終了後は、会場周辺のゴミ拾いを実施することで、ゴミ減量化の意識啓発とともに、猪名川・知明湖周辺の美しい環境を守るための清掃活動を行っています。

これからも、一人でも多くの方に一庫ダムへ来て頂けるよう取り組んで参ります。



\*\*\*\*\*

今号の水レター「びわ湖・よど川」はいかがでしたでしょうか。  
水レター「びわ湖・よど川」に対して、ご要望、ご意見がございましたら、  
下記アドレスまでご連絡ください。

mailto:kansai\_risuisya@water.go.jp

\*\*\* 『vol.87は、11月下旬に発行する予定です。』 \*\*\*

\*\*\*\*\*